

TIATのインナーブランディングプロジェクトが 2年連続で「レッド・ドット・アワード」を受賞

～ターミナル内活動が 世界三大デザイン賞 3つ目の受賞～



従業員通路ラッピング

東京国際空港ターミナルは、日本最大のブランディング会社である（株）インターブランドジャパン（<http://interbrandjapan.com>）に委託し取り組んだ インナーブランディング・プロジェクト「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションについて、ドイツの国際デザイン賞「レッド・ドット・アワード2017」を受賞しました。世界三大デザイン賞は、昨年の「レッド・ドット・アワード2016」、今年2月の「iF デザインアワード2017」に続き、3つ目の世界三大デザイン賞受賞となります。

TIATのブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」は、羽田空港で働く全ての従業員に向けたエンゲージメント活動で、2020年に向け、東京の玄関口である羽田空港で世界トップクラスのおもてなしを実現するための取り組みです。従業員一人ひとりにスポットライトを向けることで、従業員の誇りと団結をもたらすという発想で、空港で働く様々な職種のユニフォーム姿を撮影し、従業員通路にラッピングを施し、トレーディングカード風のカードカタログを作成しました。従業員同士のカード交換を通して、他の従業員の役割の理解促進や、空港全体の一体感を醸成しました。同プロジェクトでは、従業員通路を活用した空間コミュニケーションで、2016年にもレッド・ドット・アワードを受賞しており、2年連続での受賞となりました。

レッド・ドット・アワードとは、1955年から続く世界的なデザイン賞で、ドイツ「iF デザイン賞」、アメリカ「インターナショナル・デザイン・エクセレンス賞」と並び、世界三大デザイン賞のひとつとされています。2017年は世界54カ国、5,500点以上の応募作品の中から、プロダクトデザイン、コミュニケーションデザイン、コンセプトデザインの3部門の中で、「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションは、コミュニケーションデザイン部門での受賞となりました。



red dot award 2017
winner